

事業者排出量削減計画書

(宛先) 京都府知事		<input checked="" type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 変更					
住所 (法人にあっては、主たる事務所の所在地)		平成23年 9月 2 2日					
滋賀県野洲市市三宅656番地		氏名 (法人にあっては、名称及び代表者の氏名) 京セラS L Cテクノロジー株式会社 代表取締役社長 前 耕 司 電話 077-587-8000					
主たる業種	電気機械器具製造 (高密度配線基板の製造)		細分類番号 2 9 9 9				
事業者の区分	京都府地球温暖化対策条例施行規則 第2条第1項第1号 第2条第1項第2号又は第3号 第2条第1項第4号						
計画期間	平成23年4月から平成26年3月まで						
基本方針	平成20~22年度の温室効果ガス排出量原単位 (総生産比) を基準として、平成25年度には11%の削減を行う。						
計画を推進するための体制	総務本部長を事業所長として、環境安全管理責任者、部門責任者、環境推進リーダー、環境推進員にて推進体制を組んでいる。						
温室効果ガスの排出の実績及び削減の目標	温室効果ガスの排出の量	基準年度 (20~22) 年度	第1年度 (23) 年度	第2年度 (24) 年度	第3年度 (25) 年度	増減率	
	事業活動に伴う排出の量	13,865.4 トン	19,788.4 トン	23,233.5 トン	31,956.7 トン	80.3 パーセント	
	評価の対象となる排出の量	12,943.0 トン	19,788.4 トン	23,233.5 トン	31,956.7 トン	93.1 パーセント	
目標の根拠		今後の建屋増設、生産量増加を見込む必要がある為、削減目標については、総生産比を原単位として、11%削減としている。					
原単位当たりの温室効果ガス排出量等	事業の用に供する建築物の用途	原単位の指標	基準年度 (20~22) 年度	第1年度 (23) 年度	第2年度 (24) 年度	第3年度 (25) 年度	増減率
	工場	事業活動に伴う排出の量 (総生産×1000000)	1.66	1.60	1.55	1.48	-7.84 パーセント
		事業活動に伴う排出の量 ()					パーセント
原単位の指標及び目標の根拠		今後の建屋増設、生産量増加を見込む必要がある為、削減目標については、総生産比を原単位として、11%削減としている。					
重点的に実施する取組の実施計画		基準年度 (20~22) 年度	第1年度 (23) 年度	第2年度 (24) 年度	第3年度 (25) 年度	備考	
		113.0 セント	113.0 セント	113.0 セント	113.0 セント		
具体的な取組及び措置の内容	(23) 年度	SP系廃液の排水処理適正化による処理ラインの停止 特高変電屋根の二重化による断熱化 (換気ファン駆動回数低減)					
	(24) 年度	ひもスイッチ追加による照明の個別管理強化 コンプレッサー室環境改善による稼働率UP (浪費エアアの削減)					
	(25) 年度	スクラパー設備のインバータ導入による節電 使用頻度の高い照明のLED化					
通勤における自己の自動車等を使用することを控えさせるために実施しようとする措置	措置の内容	借上寮を綾部市外から市内に移転することにより、通勤に用いる車両燃料の削減を図る。					
	上記の措置を採用する理由	借上寮が工場立地場所から離れている為、近隣の市内に移転することで、通勤に用いる車両燃料を削減することができる。					
森林の保全及び整備、再生可能エネルギーの利用その他の地球温暖化対策により削減する量	区分	第1年度 (23) 年度	第2年度 (24) 年度	第3年度 (25) 年度	備考		
	森林の保全及び整備によるもの	0.0 トン	0.0 トン	0.0 トン			
	府内産の木材の利用によるもの	0.0 トン	0.0 トン	0.0 トン			
	再生可能エネルギーを利用した電力又は熱の供給によるもの	0.0 トン	0.0 トン	0.0 トン			
	グリーン電力証書等の購入によるもの	0.0 トン	0.0 トン	0.0 トン			
	温室効果ガス排出量の削減効果分又は温室効果ガスの吸収効果分の購入によるもの	0.0 トン	0.0 トン	0.0 トン			
合計		0.0 トン	0.0 トン	0.0 トン			
地球温暖化対策に資する社会貢献活動	・地元の小学校を対象に環境出前授業を実施している。 (2010年度実績: 7校実施) ・CSR経済・社会・環境報告会を地元の行政関係者、住民、取引先向けに開催している。 (1回/年)						
特記事項	綾部工場では、従来型の吸収式冷凍機と比較して、高効率のターボ冷凍機を3台採用し、内1台については冷房を行った時に発生する廃熱を利用して空調用の温水を作るダブルバンドル型を用いることで、熱エネルギーの有効活用を図っている。 又、ポンプや空調機の送風機に用いられているモーターにインバーターを積極的に採用し、冷凍機やコンプレッサーの台数制御を行うことで、効率的なエネルギーの使用を推進している。						

注 1 該当する口には、レ印を記入してください。特定事業者以外で自主参加される事業者の方は、レ印の記入は不要です。
 2 「細分類番号」とは、統計法第2条第9項に規定する統計基準である日本標準産業分類の細分類番号をいいます。
 3 「基準年度」とは、計画期間の前年度又は計画期間の前の三年度の事業活動に伴う排出の量又は原単位の数値の平均をいいます。
 4 「増減率」とは、基準年度と比較した計画期間の平均の増加又は減少の割合をいいます。